

平成23年度 新潟市北区文化会館 事業報告書

事業	実施日	会場	対象	入場者数	内容
<鑑賞事業> 邦楽創造集団 オーラJ北区公演	4月24日 (日曜)	北 区 文 化 会 館	全席指定 一般3,000円 高校生以下 1,000円	115人	3月、本公演の主たる出演者による尺八と箏のワークショップを開催した。未曾有の震災直後だった為、参加者一人一人に出席の有無を確認を取るも全員が参加。そのワークショップと連動させた演奏会は尺八、箏、笛、打楽器、三味線、琵琶による、まさに邦楽器のオーケストラであった。新作の「新潟民謡組曲」は親しみやすく、また、三木稔の作品も奇をてらうことのない、日本独自の音素材や旋法を生かした理解しやすいものであった。
<鑑賞事業> 山本貴志ピアノ コンサート	5月20日 (金曜)		全席指定 一般3,000円 中学生以下 1,000円	208人	ダイナミックでかつ繊細な演奏に客席は魅了された。多くの方が「ばかよかった」と声をかけてくれることから、事業が成功だったと確信できた。山本氏のファンは年齢層も幅広く、いつになく、若いお客様の姿が見受けられた。演奏の最後、山本氏に急遽、観客に向けて挨拶をお願いしたところ「熱がりの僕に扇風機を買いに行ってくれた会館に感謝します」など予想外の山本氏の挨拶に会場は暖かい雰囲気にも包まれた。
<鑑賞事業> 江戸糸あやつり人形 結城座・北区公演 宮沢賢治の写し絵 劇場 注文の多い 料理店	6月19日 (日曜)		全席指定 一般3,000円 中学生以下 1,000円	163人	ワークショップと連動した企画作品。本公演の直前、花、動物とワークショップの参加者が描いた絵は“写し絵”となって大スクリーンに映し出された。同時に宮沢賢治作詞作曲の「ポランの広場」の合唱が行われた。ピアノで演奏する子、歌う子と少ない練習時間ではあったが、子供たちは真剣に取り組んでくれた。初めて見る写し絵と糸あやつり人形に、客席からは感動の声が上がっていた。
<鑑賞事業> 北区ジャズ祭り'11	8月26日 (金曜) 27日 (土曜) 28日 (日曜)		市民・県民一般 全日通し券 5,000円 1回券 1,000円～ 3,000円	438人	ジャズドラマーの中村達也氏と地元ジャズマン19団体による第1回ジャズ祭り。北区のみならず海外のアーティストと繋がりをもつ内科医小黒氏の尽力で、県内の主なビッグバンドが集まってくれた。会場はホール、スタジオ1。さらに夏の祭りらしくセンターコモンを野外コンサートとして初めて利用。しかし、センターコモンは野外劇場としては適さないことが明らかになった。他にロビーでミニコンサート、スタジオ2でドラムサークルが開催された。
<鑑賞事業> 市原悦子の朗読と お話の世界	9月11日 (日曜)		全席指定 一般 前売り 2,800円 当日 3,000円	550人	タイトルが地味ではないかとの議論もあったが、女性に人気があり、チケットの売れ行きは前半から好調であった。市原氏は照明や舞台上の演出も手懸けられ、この作品に対するこだわりなどが垣間見られた。幕開け「私が選んだ女優の道」と題して幼少時代や現代にいたるまでが語られた。次に地元につわる民話の朗読。宮沢賢治「どんぐりと山猫」の朗読。途中、客席からの質問コーナー有り。あまんきみこの「ちいちゃんのかげおくり」では客席では目頭を拭う姿も見受けられた。
<鑑賞事業> 演劇公演 新作 「あとは野となれ 山となれ」	10月19日 (水曜)		全席指定 一般 前売り 3,000円 当日 3,500円	526人	TVなどで活躍している竹下氏、宇梶氏が来館とあって、チケット販売は初日から盛況であった。この公演にあわせて、友の会への入会ものび、市民の期待度は大きいと感じた。舞台装置がボクシング練習所とのことで、大きなサウンドバッグがぶら下がっており、一部の席が見えにくくなっているため、舞台監督へお願いして吊り場所を移動してもらった。終演後、竹下氏、宇梶氏、岸田氏の3人が友の会主催の交流会に出席してくれた。
<鑑賞事業> 金田明夫の絵本ひ とり語り「あらしの よるに」	11月20日 (日曜)		全席指定 1,500円	363人	俳優金田明夫氏がスクリーンに映し出された「あべ弘士」の絵を背景に、絵本・きむらゆういちの「あらしのよるに」を語り、歌い上げた。絵本はベストセラーとなっており、この物語を知る人は多いはずだが、金田氏の迫力ある語りは絵本を超えるものがあつた。特筆すべきは子供達の集中度である。席を離れる、おしゃべりをする、泣き出すなどがいっさいなく舞台に見入っている。芸の力のなせる技である。

事業	実施日	会場	対象	入場者数	内容
<鑑賞事業> 第2回北区新春落語まつり	平成24年 2月5日 (日曜)	北 区 文 化 会 館	全席指定 一般 前売り3,500円 当日3,800円 5歳以上 前売り2,000円 当日2,300円	542人	TV「笑点」「あなたが主役51ボイス」などで活躍中の春風亭昇太氏と「笑点」の林家たい平氏の二人会。人気度は高く、1週間でチケットが完売。嬉しい最速記録である。演目は当日まで不明、昇太氏は現地でお客様の雰囲気や年齢層でネタを決められるそうだ。打合せの際に「満席です」と伝え、会館の為に喜んでくれた。終演後、友の会会員と記念撮影。会員の皆さんは握手をしたり、サインをもらうなど交流を図っていた。
<創造事業> 北区オリジナルミュージカル「春のホタル」	平成24年 11月		平成23年度「春のホタル」準備 10月10日:メインスタッフ顔合わせ(作家、演出家、美術家、照明デザイナー、舞台監督、プロデューサー)*台本や作品の方向性について確認を行う。 10月27日:「春のホタル」助成金ヒアリング(地域創造) 2月3日:美術家現地ロケハン		
<普及育成事業> ワークショップ「写し絵芝居 宮沢賢治の写し絵劇場」	6月17日 (金曜) 18日 (土曜) 19日 (日曜)		市民一般、 児童・生徒 全日通して 1,000円	36人	宮沢賢治の写し絵劇場「注文の多い料理店」公演と連動したワークショップ。公演当日、舞台上のスクリーンに映し出す絵を描く作業を行なった。参加者の多くはマーチングバンドに所属している子供達と保護者。種板といわれるガラス板に思い思いの絵が次々と描かれていく。結城座の人形遣いたちの細かな指導で、なかなかの傑作が出来たようだ。隣同士、親子で互いの絵を批評しあったり、19日の本番が楽しみな参加者たちだった。
<普及育成事業> アウトリーチ 「能楽」	6月23日 (木曜)	木崎コ ミセン	木崎地区住 民 参加費100円	62人	講師は能楽師(ワキ方)と囃子方の3人。能楽師高井松男氏によって能独自の約束事や所作、歴史が優しく解説された。囃子方は笛と小鼓。能楽というと年配者を想像してしまうがこの二人はとても若く、これからの活躍が期待される。笛と小鼓の楽器体験が行われた。小鼓の切れのいいポーンという音はなかなか出ない。笛はもっと簡単ではない。しかし参加者は普段目にしない楽器に触れたり、演奏?したりで顔が輝いていた。
	6月24日 (木曜)	長浦コ ミセン	長浦地区住 民 参加費100円	39人	会場の窓ガラスに雨がたたきつける悪天候の中、年配の方々が集まってくれた。あいにくの天気だがと能楽師高井松男氏の話が始まる。高井氏はワークショップを日本の各地で行っているベテラン。巧みに参加者の心をつかんでいく。笛や小鼓を合いの手でいれながら能楽の歴史や能の所作などをレクチャー、そして楽器体験。少し遅れて腰の曲がった女性が二人参加。他の参加者と胸をはって小鼓に挑戦。帰りには背筋が伸びて別人のようであった。
		葛塚コ ミセン	葛塚地区住 民 参加費100円	44人	あいにくの大雨の天気で、参加者の数が大幅に減ってしまった。しかし講師の高井氏の巧みな誘導で、参加者は小鼓、笛の前に列を作る。最初はかすりもしなかった笛の音がかすかに鳴ると周りからも歓声があがる。一瞬、青年のようにふるまう年配者。アウトリーチの姿である。
<普及育成事業> アウトリーチ 「リコーダーとリュート」	9月13日 (火曜)	太田小 学校	太田小学校 児童と職員、 保護者 参加費100円	61人	音楽教育ではリコーダーは必修で、誰でも経験しなければならぬ。安易そうに見えてなかなか奥が深い。元気盛りの子には力みすぎて、強く吹くと音程がとれない。集中してやらないといけなく、そんな意味で情操教育には良いと言えるであろう。子供たちにはどうやったらあんないい音が出るか、興味津々であった。上達の秘訣は「憧れ真似ること」良い学習の場にもなった。

事業	実施日	会場	対象	入場者数	内容
＜普及育成事業＞ アウトリーチ 「リコーダーと リュート」	9月14日 (水曜)	青い鳥 保育園	保育園児、 早通地区住民 参加費100円	97人	早通地域コミュニティと青い鳥保育園が共同で開催。保育園では独自で演奏会を開くこともあり、園児たちはこうした行事には慣れており、地域の大人たちに混じって静かに聴いている。いろいろな種類のリコーダーから出てくる様々な音色は園児たちも初体験。見たことのない楽器リュートにも興味津々。優しい音色は現代では貴重。リュートは古楽器であるが、音楽の持つ力には今昔は無いと感じた。
		早通南 小学校	早通南小学校 児童と職員、 保護者 参加費100円	122人	区内でのアウトリーチ事業は、よく知られていないのが現状である。その中で2年連続して応募してくれた学校だ。実施が決まり大いに喜んでくれた。学校の対応も気持ちよく、この事業をもっと広げたいと痛感した。
＜普及育成事業＞ アウトリーチ 「ハープ」	10月13日 (木曜)	濁川小 学校	濁川小学校 児童と職員、 保護者 参加費100円	223人	アウトリーチにはもったいないくらいの立派なハープを池田氏が持ってきてくれた。グランドハープという。こんなに大きなハープはあまり見かけたことはないし、子供達にとってはナマの演奏は初めての体験かもしれない。相手が子供か聴き上手かは問題ではない、全力で演奏するのが池田氏のポリシーだ。ミュージックセラピストとしても知られており、演奏の合間には、命の大切さを子供達に説いていた。
	10月14日 (金曜)	岡方第 二小学 校	岡方第二小学 校児童と職 員、保護者 参加費100円	88人	優しく語り掛ける池田氏のアウトリーチが始まる。なじみのある曲やアニメのテーマソングが体育館の中に流れていく。演奏の合間には、戦争の置き土産“地雷”に今もおびえ、苦しんでいる子供達が世界にはいっぱい居ること、だから元気に生きることが大切なんだと、話されている姿が印象的だった。
		豊栄南 小学校	豊栄南小学 校児童と職 員、保護者 参加費100円	80人	会場となった音楽室には、子供達の笑顔と歓迎の横断幕があった。子供達の背丈ほどあるグランドハープに皆興味津々。途中で登場したアイリッシュハープとグランドハープによる合奏(きらきら星)に、大きな拍手が沸いた。本アウトリーチはハープの魅力の他、講師池田氏の海外演奏活動を通して多くの不遇な子供と接してきた話、「遠く離れた国では同じ年の子供が大変な状況にある。それを心の片隅において欲しい」という願いを語った。
＜交流・発信事業＞ 北区フィルハーモ ニー管弦楽団「ファミ リーコンサート」	10月23日 (日曜)	北 区  文 化 会 館	全席自由 一般 1,000円 中学生以下 500円	455人	平成22年に結成された市民オーケストラの第1回目のファミリーコンサート。より音楽に親しんで欲しいと、年齢制限をあえて設けず、小さな子供たちにも楽しめる曲を選曲した。指揮者体験コーナーには小学生や高校生が参加し、観客から大きな声援を受けていた。
＜交流・発信事業＞ 北区音楽祭 2011	11月6日 (日曜)		北区とその 周辺 無料	910人	出演団体が、三味線、琴・尺八、コーラス、バンド、吹奏楽、ピアノ、ダンスと、多種多彩で広く市民が参加する音楽祭になった。公民館と連携をとり、練習時間の配分や、出演の順番など今年も支障なく行うことが出来た。
＜交流・発信事業＞ 松浜太鼓 Welcom 和 Taiko	11月13日 (日曜)		全席自由 一般 1,500円 中学生以下 800円	273人	県内だけではなく、外国でも演奏経験のある和太鼓集団「松浜太鼓」のフェスティバル。日ごろの練習成果をホールいっぱいに響き渡らせる熱演であった。今年で創立35周年を迎える松浜太鼓に会館が自主事業の一つとして協力する形でのコンサート。ゲストに上田秀一郎氏を迎え、舞台での歩き方、見せ方などのアドバイスを受けた。上田氏の演奏は会場からも、舞台袖からも万来の拍手が寄せられた。
＜交流・発信事業＞ 協働成果発表会・ 上田秀一郎「光の 道標」	平成24年 1月11日 (水曜)		市民一般 無料	25人	和太鼓奏者の上田秀一郎氏が、文化会館で録画撮りを行い、国際音楽エンタテインメント専門学校の学生が撮影を手伝う形で進められた。いまやテレビカメラの撮影などは一般的な風景だが、実際の現場には多くの人に関わっていることを実感し、見聞を深めていた。略称NSGの理解ある協力で今回の事業が成立した。